

第2回イノベーション創出のための
学びと社会連携推進に関する研究会



三菱みらい育成財団の取組み

2024年1月25日

一般財団法人 三菱みらい育成財団
妹背 正雄

1. 三菱みらい育成財団の概要

1. 三菱みらい育成財団の概要

- 三菱グループ150周年(=2020年)記念事業
 - ✓ 三菱グループ25社が10年間で合計100億円を拠出
 - ✓ 事業期間を10年に区切り、基金を作らず、拠出金を事業運営に充当
 - ◆ 理事長:宮永俊一 三菱重工業 取締役会長
 - ◆ フルタイムで従事する常勤者は3名(三菱グループ3社から出向)

1. 三菱みらい育成財団の概要

- 教育プログラムへの助成
 - ✓ 予測困難な変化の中、複雑な課題を解決していくためには、未来を切りひらく力を持った多くの人材が不可欠
 - ✓ 奨学金ではなく、教育の実施側に助成
 - ✓ 研究助成は、100周年時に設立の「三菱財団」が実施中
- 対象:15~20歳相当(高校生+大学1・2年生)にフォーカス
 - ✓ 10代後半の若者たちに着目。人生で最も柔軟かつ多感、無限の可能性を秘めた未来の担い手

1. 三菱みらい育成財団の概要

- 助成カテゴリー：5つのカテゴリーで助成
 - ✓ カテゴリー1:高校等 心のエンジンを駆動させるプログラム
 - ✓ カテゴリー2:教育事業者等
心のエンジンを駆動させるプログラム
 - ✓ カテゴリー3:大学等 先端・異能の発掘・育成
 - ✓ カテゴリー4:大学等 21世紀型教養教育
 - ✓ カテゴリー5:大学等 教員・指導者育成

1. 三菱みらい育成財団の概要

➤ 助成事業

- ✓ これまでの助成先は、延べ 301機関（原則3カ年継続助成）
- ✓ プログラム参加者総数は 169,000名

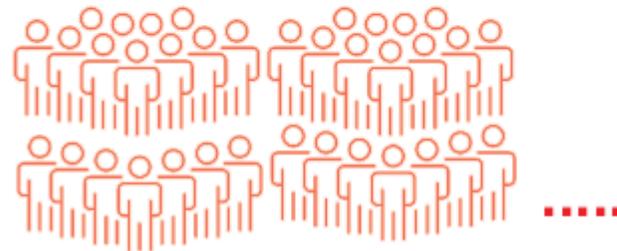
2023年度の
カテゴリー1の助成先

全国 **46**
都道府県



プログラムの
参加総人数

約 **169,000**人



1. 三菱みらい育成財団の概要

➤ プラットフォーム事業

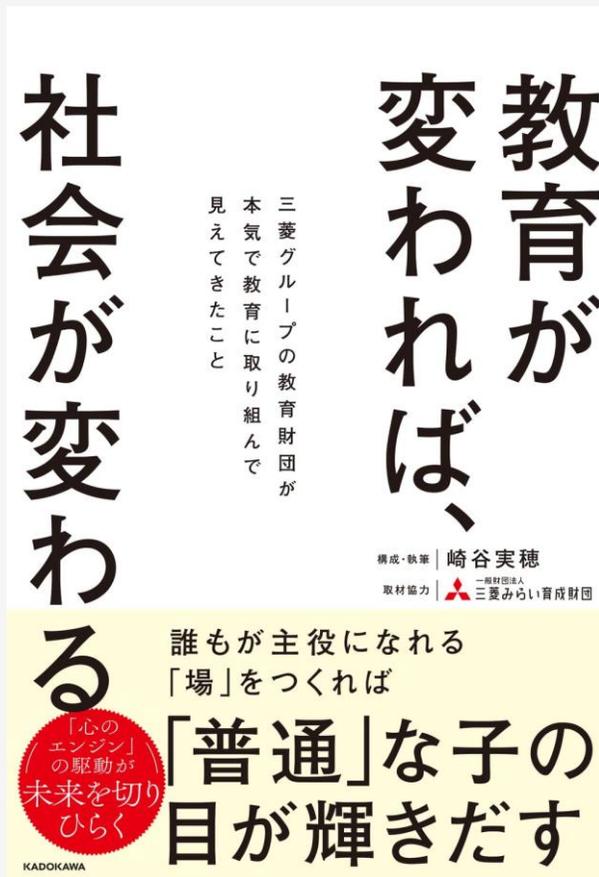
ネットワークづくりや情報発信を行い、
その成果を広く社会に波及させるための活動

- ✓ 交流会:助成先(高校・大学・教育事業者)の交流機会
- ✓ シンポジウム
- ✓ 書籍「教育が変われば、社会が変わる」
(KADOKAWA、2023)
- ✓ 研究レポート「心のエンジンが駆動するとき 2023」



1. 三菱みらい育成財団の概要

➤ 書籍「教育が変われば、社会が変わる」



なぜ、三菱が教育に取り組むのか？

日本の教育の未来は
どうなる？

- ◆ 高校では「探究の授業」が主体性を育む柱になっている
- ◆ 大学1・2年で「リベラルアーツ」をしっかり学ぶ
- ◆ 教育事業者・NPOなど「学校外の組織」の活動が重要になっている
- ◆ 教育を変えるためには「大人」自身が変わる必要がある
- ◆ 「天才」を伸ばして、イノベーターを生む必要がある

今の教育はこうなっている！

三菱グループの教育財団が取り組む、日本の教育を変える活動に迫った、「教育の今」と「教育のこれから」を伝える。学校・大学・教育事業者・保護者・企業が、50年後の日本のためにできることがわかる！

建築家 隈研吾 氏推薦	子どもたちを コンクリートの箱に 閉じ込めてはいけない	株式会社DeNA 代表取締役会長 南場智子 氏推薦	日本を救うのは エリートじゃない 夢中を手放さない心だ
株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼社長 柳井正 氏推薦	「承知しました」と言う 大人になるな	メルカリCEO 山田進太郎 氏推薦	子どもの未来への 三菱の本気

教育が変われば、社会が変わる

三菱グループの教育財団が本気で教育に取り組んで見えてきたこと

著者 **崎谷実穂** 取材協力 **一般財団法人三菱みらい育成財団**

定価 1,540円(税別1,400円+税)
ISBN 978-4-04-608080-7

KADOKAWA 発行 株式会社KADOKAWA 〒100-8172 東京都千代田区富士見2-13-3 <http://www.kadokawa.co.jp/> 電子版も「BOOKWalker」<https://bookwalker.jp/>で電子版が購入できます。*定価に付したISBNコードは二進法表記に利用してください。お求めは、お近くの書店またはネット書店で

朝日新聞 2023/4/21 朝刊

2. 心のエンジンが駆動するとき

(研究レポート2023)

2. 心のエンジンが駆動するとき

研究レポート2023「心のエンジンが駆動するとき」

- 高校生の心のエンジンがどんなときに駆動するのかを考察
 - ✓ 助成先 生徒48,000人アンケート + 先生方へのヒアリング
- 国や教育委員会のみならず、企業や社会人を含めた幅広いステークホルダーに提言
 - ✓ 2023年6月 永岡文部大臣(当時)にお渡し
- 財団ホームページにて公表、都道府県教委等にご送付
- Appendixもご参照(全文・概要版を財団ホームページに掲載)



2. 心のエンジンが駆動するとき

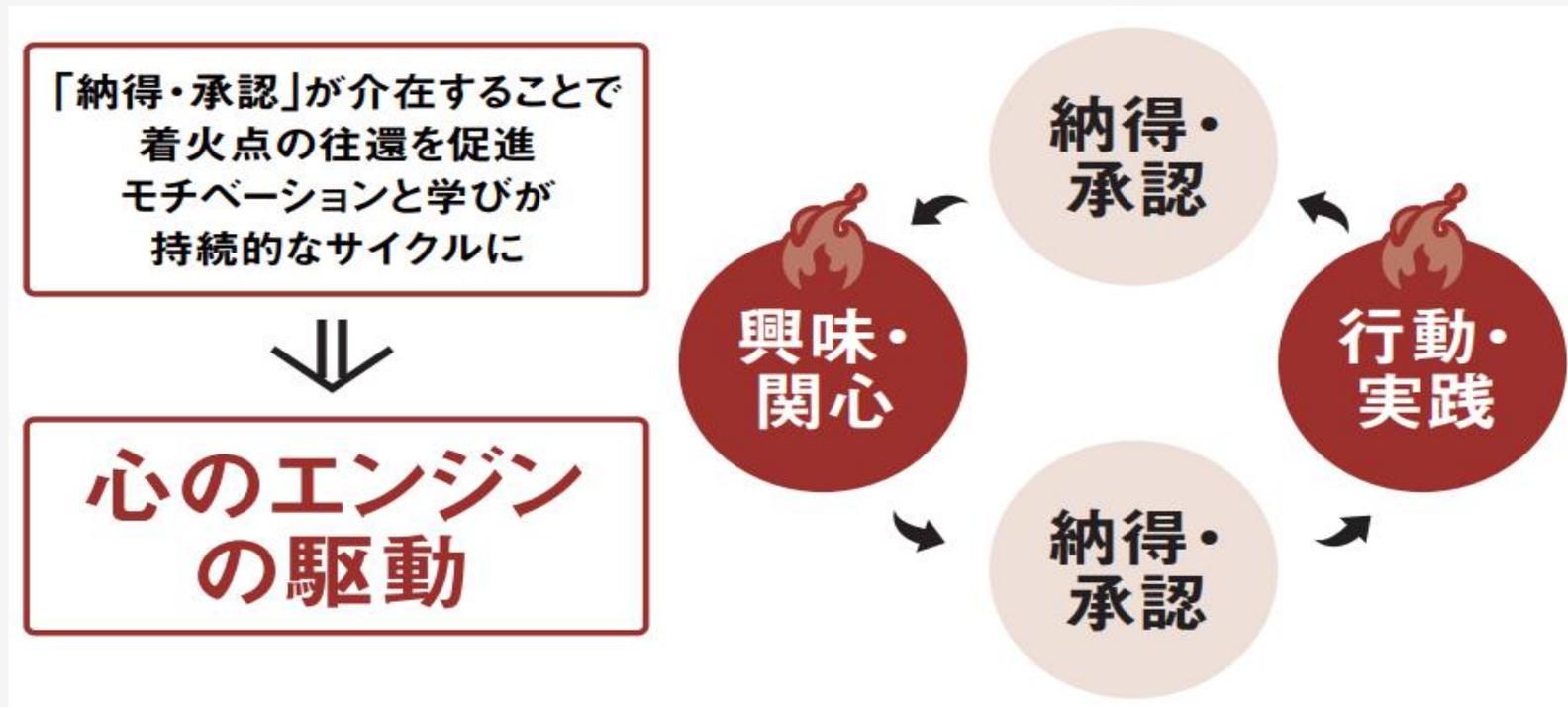
➤ 他国と比較して低い高校生の自己肯定感

	自分には人に 誇れる個性がる	自分は他人から 必要とされている	自分は責任がある 社会の一員だと思う	自分の行動で、国や社会を 変えられると思う
日本	47.9 6位	52.7 6位	48.4 6位	26.9 6位
アメリカ	74.0	67.7	77.1	58.5
イギリス	72.2	64.6	79.9	50.6
中国	74.2	77.3 1位	77.1	70.9
韓国	68.9	73.7	65.7	61.5
インド	84.0 1位	59.6	82.8 1位	78.9 1位

資料) 日本財団「18歳意識調査「第46回 国や社会に対する意識（6カ国調査）」報告書」（2022年3月）より一部抜粋し作成。

2. 心のエンジンが駆動するとき

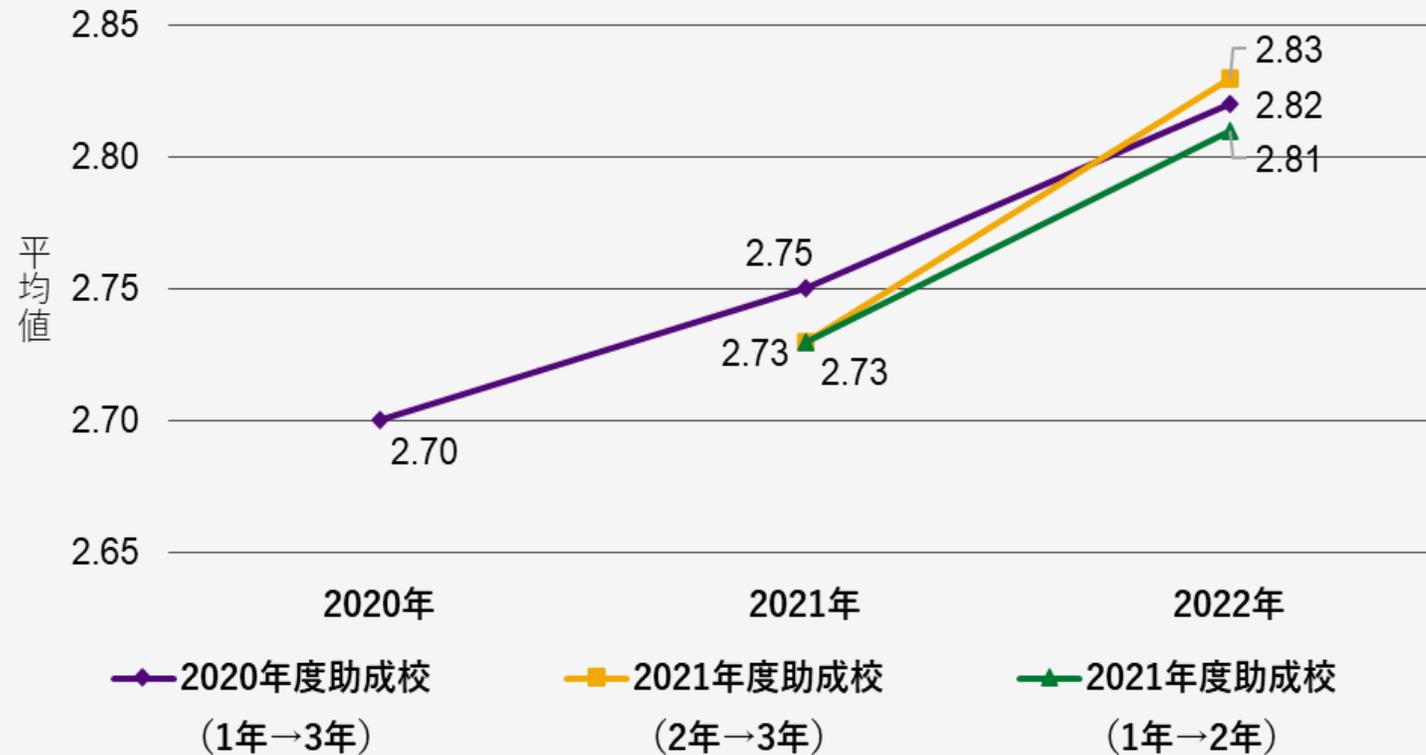
➤ 「心のエンジン駆動」の構造を仮説化



2. 心のエンジンが駆動するとき

➤ 助成校での自己肯定感の一貫した伸び

「自分にはよいところがあると思う」
「私は自分自身に満足している」を合わせた
自己肯定感の指標が、継続的に向上。



2. 心のエンジンが駆動するとき

➤ 心のエンジン「着火」のポイント（定性的ヒアリングから）

①心のエンジン駆動
を偶発的に刺激する
様々なプログラム



②「本気の大人」や
社会課題の「現場」
と出会える機会



③教科学習や
進路指導も含めた
全面的な探究化



2. 心のエンジンが駆動するとき

➤ 心のエンジン「持続」のポイント（定性的ヒアリングから）

④ 探究的な学びの ための土壌づくり



⑤ 教員が「教える・ 指導する」ことを 手放す



⑥ 学年を越えて 学びあう 仕組みづくり



3. 現状と課題

(カテゴリー1 高校、資金面を中心に)

3. 現状と課題

➤ 助成事業の現況

- ✓ 高校(カテゴリー1)助成先は累計203校 (毎年 約50校採択×4)
- ✓ 2020年度助成開始、3年継続助成の終了先が出始め
- ✓ 一部は財団パートナーとして「リエントリー」再採択も

➤ 助成先の多様性

- ✓ 進学校、進路多様校。普通科、職業科(商業科・工業科・農業科等)
- ✓ 全国に分布。離島や中山間地域も含む
- ✓ SSH(スーパーサイエンスハイスクール)等への重複助成は行わない

3. 現状と課題

➤ 助成額

✓ 高校の場合、年間1～2百万円

(ご参考: 教育事業者の場合 年間5～10百万円: カテゴリー2)

➤ 主な用途

✓ 交通費 : 生徒の外出や、助言者・講師来校の交通費

✓ 謝金 : 継続的・持続的な助言・講演には謝金が必要

✓ コーディネーター等の委託費

➤ 柔軟性・簡便性

✓ 期中の用途変更申請にも対応 ⇒ 状況に応じた柔軟な運営

✓ 申請書式は3～4枚程度。成果報告は8分動画(説明音声付きプレゼン資料)

3. 現状と課題

- 助成金を活用し、教育現場で実現できている学び
 - ✓ 学校の外へ出て、地域の現場に触れる
 - ✓ 地域の大人の話聞く ……アポを取得して+現場での出会い
 - ✓ 各界で活躍する大人に直接話を聞く(例:起業家)
 - ✓ 外部からの助言者の来校 (大学教員や地域の大人)
 - ⇒ 気づきや刺激。
「自ら感じ、考え、試行錯誤する」体験が、ワクワク感と深い学びに
 - ✓ コーディネーター・TA(Teaching Assistant:大学院生・学部生)による補佐
 - ⇒ 外部調整に関わる教員負荷の軽減、対話による伴走的な指導の補佐

3. 現状と課題

- 3カ年の継続助成により生徒の変容を含む活動実績を創り出し、助成終了後の自走を目指す
- 助成終了先を「アルムナイ先」とし、交流会への出席機会等で接点を確保
⇒助成終了後の探究活動の内容面・資金面の現況聴取へ
- 特に公立高校では、資金面の自走は容易ではない

3. 現状と課題

- 探究活動の内容面の好事例とともに、資金面の自走についても好事例の発掘、横展開が必要
 - 資金調達できている場合の例
 - ✓ 市町村からの資金支援 …… 特に「市町村に高校が1校のみ」の地域
 - ✓ 市町村や県からのコーディネーター派遣
 - ✓ 都道府県の指定校事業 …… TA経費、教員の海外派遣旅費等
 - ✓ 同窓会・後援会の支援 …… 生徒の海外派遣旅費 等
 - ✓ 保護者納付金からの捻出
- ⇒ 予め計画できる、効果が見えやすい使途でないとなかなか難しい

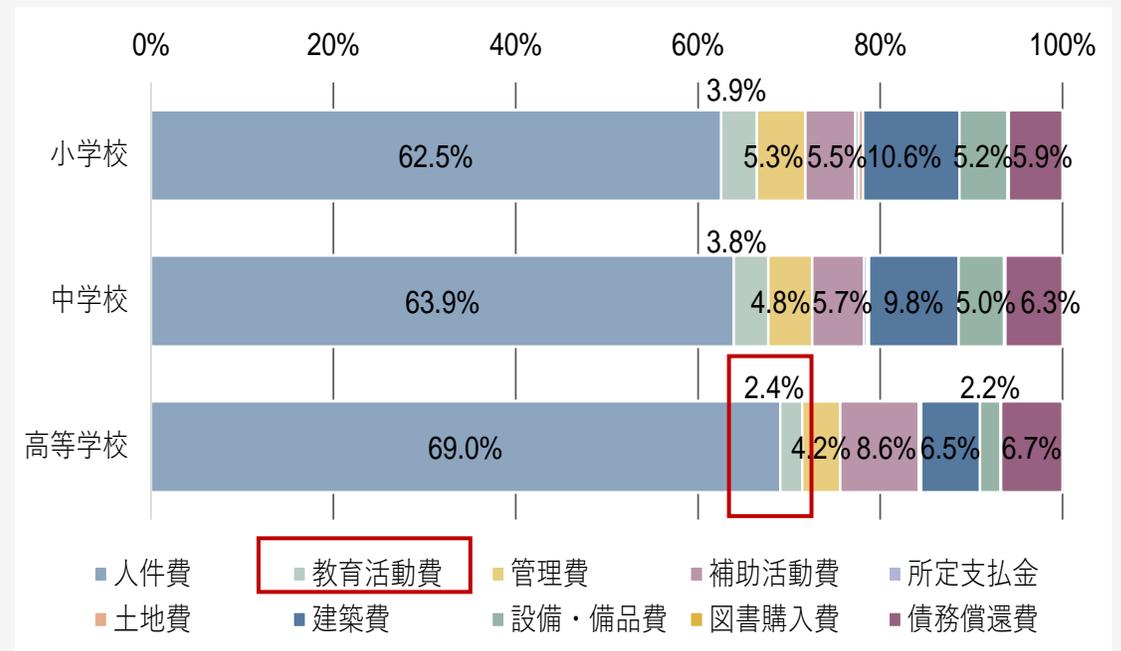
Appendix : 研究レポート2023 提言内容

Appendix : 研究レポート2023 提言内容

【提言1】 高校世代の教育に対する、資金面を含むリソース投入の充実

- 学校や地域ごとの創意工夫を促す教育プログラムを推進するための**教育活動費の拡充**が求められる。
- 高校における教育活動費は都道府県ごとにばらつきが大きい。

学校教育費の支出項目別割合
(2020年度)



Appendix : 研究レポート2023 提言内容

【提言2】「心のエンジンの駆動」に関するグッドプラクティスの横展開

(1) 高校等における体制づくり

(2) 心のエンジンの駆動に寄り添う
効果的な財政支援

(3) 学校外の重層的なプログラムの
充実

(4) セクターを跨いだ交流機会の創出

Appendix : 研究レポート2023 提言内容

【提言3】高校での「心のエンジンを駆動」を加速するための基盤的環境の整備

(1) 教員の働き方改革の推進

(2) 教員の研修機会の充実

(3) 生徒の「学び方改革」の
一層の推進

(4) 高校の入口(中学校)との
接続強化

(5) 高校の出口(大学等)との
接続強化

Appendix : 研究レポート2023 提言内容

【提言4】主体的に考え未来を創る人材の育成を

(1) 企業や社会が求める人材と、探究型学習の意義

- 企業が求めているのは、変化の波に柔軟に対応し、複雑化する課題を自分ごととして捉え、そのソリューションを提供し新たな価値を生み出す人材。
- 企業や一人ひとりの企業人にも、求める人材像について教育現場に発信する努力が求められる。
- 高校における探究型学習での経験は、企業や社会で活躍する力を養うことにつながる。

Appendix : 研究レポート2023 提言内容

(2) 学校現場が地域や社会に開かれた教育を

- 生徒が学校外の「本気の大人」や社会課題の「現場」に触れる機会の創出には相応の時間・労力を要し、一部の熱意ある教員が苦心する状況も。
- 学校は学校外のリソースを適切に活用し、時間を捻出し教育の質の向上に繋げることが重要。コーディネーター育成等への国の動きの拡大に期待。
- 教員に欠員がある中、企業経験者の教員採用の拡大が実績に結びつかない事由の掘下げを。社会人選考での免許取得期間猶予制度の全国への拡大推進を。

Appendix : 研究レポート2023 提言内容

(3) 日本の教育の変革のカギを握るステークホルダー

- 企業規模を問わず多くの企業や、企業人を含む社会人が、教育や学校現場に関心を持つことが求められる。
- 地域の大人は、学校現場や教育事業者の教育活動に積極的に参画し、生徒の成果発表会等にも機会があれば積極的に参加する姿勢が望まれる。
- 企業人が教育現場に関わることは、仕事の意義を問い直す等、学びの機会となり、企業にも得るもの大きい。こうした価値の言語化と発信が必要。

